

## 【公益目的事業1】 就農支援事業

「セミナー」「営農支援情報提供」「海外団体との交流・提携」を通じて以下の事業を実施予定である。

### (1) セミナー

2019年は以下の主催事業を実施予定である。

- ① 愛農大学講座  
＜日程＞ 年2回実施予定  
＜会場＞ 愛農学園
- ② あいのうこども自然学校  
＜日程＞ 5月実施予定  
＜会場＞ 愛農学園  
＜参加者＞：20名(小学校高学年)
- ③ あいのう農産加工集中コース  
＜日程＞ 1月実施予定  
＜会場＞ 愛農学園

### (2) 営農支援情報提供

- ① 機関誌『愛農』  
機関誌による情報提供を継続する。主催セミナーの実施報告や開催案内、持続可能な農業や暮らしの実践者の紹介、過疎に対して具体的な取り組みを行っている地域の紹介等を通じて情報提供を行う。
- ② Web媒体による情報提供  
ホームページやSNS等による情報提供を具体的に推進する。

### (3) 海外団体との交流および提携事業

- ① A F A (Asian Farmers' Association for Sustainable Rural Development )  
理事会および経営に関わる会議、A F Aに関わる国際会議への出席(村上会長)、若手農民部会責任者としての活動(飯尾専務理事)を中心に本年も継続して活動に取り組む。
- ② インターンシップ実習生受け入れ  
台湾国立ピントン科学技術大学、タイタマサット大学からの研修生受け入れ。愛農学園や農家での座学・実習などを通じて日本の有機農業について学んでいただく。現時点で2019年度の開催は未定。
- ③ 韓日平和交流会  
韓国正農会との交流事業。本年度は日本での開催を予定。

## 【公益目的事業2】 農産物及び加工食品等の認証に関する事業

### (1) 認証事業

本年度も継続して認証事業に取り組む。過去に参加した未申請事業者へのフォローを行う等、収益の柱として講習会・新規事業者の拡大に積極的に取り組む。

<具体的な取り組み>

- ・新規認証審査、年次確認調査：都度
- ・有機認証講習会：年4回開催予定
- ・内部監査：年1回実施予定
- ・認証業務者研修：8月実施予定
- ・判定会：週1回を基本として原則毎週開催
- ・有機JAS登録認証機関協議会による公平性委員会参加
- ・過去に講習会に参加した事業者(未申請者)へのフォローアップ
- ・1日セミナーの開催

## 【管理部門】

法人や事務局の運営について継続して改善を行う。本年度の重点取組項目としては以下の通りである。

### (1) 支援者の正確な状況把握

2019年は併せて支援者管理データベースの再構築を行うとともに、既存支援者に対する調査や退会時のヒヤリングを通じて会を支援し続けている理由や支援を辞めた理由の可視化を行う。支援者が会に求めていることを正確に把握し、今後の会運営を行うにあたっての課題を洗い出す。

### (2) 会員拡大

会員の増加を図るための具体的な取り組みを推進する。会員向けサービスの開発や将来会員になる顧客増の明確化など、新規会員・既存会員双方にとって価値のある事業運営を行う。

### (3) 既存支援者との連携

会員や機関紙購読者の取り組みに対する連携を積極的に行う。